

教育  
広報

# あきる野の教育

2019(令和元)年11月15日 編集・発行 あきる野市教育委員会 〒197-0814 あきる野市二宮350 ☎042(558)1111(代)



## いじめをなくそう子ども会議



子ども会議では、各校を代表する生徒たちが熱い議論を交わし、その成果を市議会の議場で発表しました。



あきる野市  
教育委員会  
教育長 私市豊

7月12日(金)に、市役所で「いじめをなくそう子ども会議」を開催しました。各学校を代表する小・中学生がテーマである「いじめをなくすにはどうすればいいか」について意見を交わし、その後、市議会議場でその成果を発表しました。

そして、小学1年生でもわかるように、表現方法なども工夫する努力が感じられました。

子どもの世界だけではなく、大人社会でもいじめはある。いじめは、いつでもどこでも起こる永遠の課題です。

童話の世界の「シンデレラ」や「さるかに合戦」にもいじめは潜んでおり、子どもたちは幼児期から、知らず知らずにいじめを学んでいます。「シンデレラ

今年度も「いじめをなくそう子ども会議」を開催しました。6中学校区ごとに分かれた中学生と小学生が、ともに、いじめについて各学校で考えてきたことを持ち寄り、いじめをなくすための取組について話し合いました。話し合いの内容を聞いていると、中学生と小学生が真剣に、

子どもの時に、遅くとも小学生の時までにその「スイッチ」を心の中に育てることが、教育の使命ではないでしょうか。

「ラ」や「カ」が、いじめられていることに対して、純粹にかわいそうと思いき、いじめはいけないことを学んでいます。そうであるならば、それをしなさいという「スイッチ」を、一人ひとりの子どもの心の中に芽生えさせる必要があります。子どもの時に、遅くとも小学生の時までにその「スイッチ」を心の中に育てることが、教育の使命ではないでしょうか。そして、その教育は、学校だけでなく家庭や地域における教育も大事であり、お互いに連携して取り組む必要があると考えています。

### あきる野市・栗原市中学生友好親善交流会

7月30日(火)から8月1日(木)までの3日間、あきる野市と宮城県栗原市の中学生による友好親善交流会を行いました。

この交流は、「五田市憲法案」起草者の千葉卓三郎の生誕地が宮城県栗原市(旧志波姫町)であることがきっかけで、平成元年から行われています。平成20年の岩手・宮城内陸地震、平成23年の東日本大震災による2回の中止があった以外は、毎年開催しています。

今年度はバドミントン部と生徒会役員の生徒たちが交流しました。



バドミントン部は、秋川体育館で男女ともに熱い戦いを繰り広げました。また、対抗戦終了後は、両市の生徒がチームを組み、練習試合を行う場面も見られました。

また、一層発展していくための提案として、都市化を進めるべきだという意見や、観光に力を振興して地産地消を心がけるべきだという意見など、多様な意見が出されました。これからのあきる野を背負っていく中学生がとてたくましく見えます。

バドミントン部は、秋川体育館で男女ともに熱い戦いを繰り広げました。また、対抗戦終了後は、両市の生徒がチームを組み、練習試合を行う場面も見られました。

また、一層発展していくための提案として、都市化を進めるべきだという意見や、観光に力を振興して地産地消を心がけるべきだという意見など、多様な意見が出されました。これからのあきる野を背負っていく中学生がとてたくましく見えます。